

あさんが、案内してくれ、迷路のような市場から、やっと抜け出すことができた。その上、うちにきて食事していかないかといってくれた。はじめてあった人にも、「食事をどーぞ」という人は多い。そのときは、あれ以上ご厄介をかけぬよう辞退し、心からの感謝をもって別れたのだが、「彼女が買った魚は、あの炎暑のなか、わたしの道先案内をしているうちに腐ってしまったのではないかしら」と、いまでも私は気にしている。

ザイナブも道を知らないから、あちこちで立ち止まったり、地図を見たり、人に聞いたり…モスクにはなかなかたどりつかない。それでも彼女は、あせる様子もなく、ゆったり歩いていく。彼らは「急ぐとシャイターン(悪魔)につけこまれる」という。「のどかさば神からあたえられたもの」ともいう。ラーハというアラビア語を訳して「ゆとろぎ」すなわち「ゆとり」と「くつろぎ」をたして、「りくつ(理屈)」をひき、「ゆとろぎ」(ゆっくりとした理屈めきのいい生活)をしましよとうといいた張本人は私なのだが、「急げ急げ、頑張れ頑張れ」という日本文化のなかで育った私は、ついつい急ぎ足になってしまう。「礼拝の時間に間にあいたいよ」と、つい嘘をついてしまう馬鹿なわたし。彼女はわたしのことを、イスラーム教徒だと思いこんでいる様子だった。やっと小さなモスクの入り口にたどりつく。

「じゃあね、私はお祈りできないの、今日は」。女性は生理中のときは礼拝しない。それもあってモスクにくるのはどちらかといえば男性のほうが多い。女性は自宅で祈ることのほうが多い。そのほうが気楽だという。男性もモスクで礼拝せねばならないということはない。路傍でも廊下の端でも、どこでも、礼拝できるところならどこでもよい。金曜日の午後の礼拝は集団でモスクでしたほうがよいとはいうが。

「それにね、わたし…これから彼のいる大学に行くの。じつはね、ハビービ(恋人)なのよ」。はずかしがって恋人とストレートにはいわからなかったらしい。

「彼はコプト(エジプトのキリスト教徒)なのよ。でも私と結婚するので、イスラーム教徒になるといっているの」イスラームはキリスト教のあとに出てきた弟分の宗教。はじめはキリスト教の新しい宗派だろうともいわれた。

「だから、教義も似ているし、原子物理学を勉強した彼はイスラームのほうがあとで出てきただけあって科学的だというのよ」。



ウィーンのモスク前で

「そうね。イスラームは三位一体とも処女懐胎ともいわないもんね」「でもねえ、彼のお父さんは私たちの結婚に反対なの」。ちょっと顔をくもらせて、しかし屈託なくいった。

彼に早く逢いたいだろうに、それを後まわしにして、偶然あっただけのわたしに親切にしてくれたやさしい人。私をモスクに送り届けると、思いなしか足ばやに踵をかえす彼女の後ろ姿を目で追いつながら、彼との逢瀬がうまくいきますように、めでたくロマンスが実を結びますように、と北ぐにのやわらかい春の光のなかで祈ったのであった。

片倉もとこ教授 略歴

- ・奈良に生まれる
- ・東京大学大学院理学系研究科博士課程卒業、理学博士
- ・津田塾大学教授、国立民族学博物館教授、総合研究大学院大学教授を経て、現在、中央大学総合政策学部教授、国立民族学博物館名誉教授、総合研究大学院大学名誉教授
- ・エジプト、サウジアラビア、シリア、イラン、アラブ首長国連邦などの中東地域、北米、地中海沿岸地域、バルト海沿岸地域、カリブ海沿岸地域で民族学的調査を行う
- ・国際基督教大学、東京大学、大正大学、東京外国語大学 各講師
- ・コロンビア大学客員研究員、フリテイッシュ・コロンビア大学客員教授、アラブ文献研究センター客員研究員

主要著作

- 『Bedouin Village』 東京大学出版会 1977年
 - 『アラビア・ノート』 日本放送出版協会 1979年
 - 『人々のイスラーム』 日本放送出版協会 1987年
 - 『現代イスラーム小事典』 エッソ石油 1987年
 - 『海のシルクロード(第2巻)』 日本放送出版協会 1988年
 - 『イスラームの日常世界』 岩波書店 1991年
 - 『Japan and the Middle East』 中東調査会 1992年
 - 『世界単位・中東の場合』(『世界単位論』10章) 弘文堂 1994年
 - 『「移動文化」考』 日本経済新聞社 1995年
 - 『「移動文化」考』 岩波書店 1998年
 - 『アラビア・ノート』 ちくま学芸文庫 2002年
 - 『イスラーム世界事典』 明石書店 2002年
 - 『イスラームを知る32章』 明石書店 2003年
 - 『イスラーム世界』 岩波書店 2004年
- ほか多数。

受賞

- アジア経済研究所研究奨励賞
- 各務財団優秀図書賞
- 石油文化賞
- エッソ研究奨励賞
- 大同生命地域研究奨励賞

その他

- 砂漠学会 副会長/地中海学会 副会長/日本オリエント学会 理事
- 日本民族学会 理事/比較文明学会 副会長
- 国際交流基金 運営審議会 委員
- 国土庁 国土審議会委員 文化と生活様式委員会 委員長
- 国立民族学博物館 評議員/日本ユネスコ国内委員会 委員
- 文化庁 国語審議会 委員、など多数歴任。

編集部注

- ※「イスラーム」とは、アラビア語で、平和、従順、服従などの意味をもつ。宗教的には、唯一神「アッラーへの帰依」を表す。
- ※「ムスリム」とは、アッラーに帰依した者、すなわちイスラームの信徒をいう。(宗教法人イスラミックセンタージャパン発行小冊子「イスラームとはなにか」より引用)

http://www.islamcenter.or.jp/J_new_homepage/